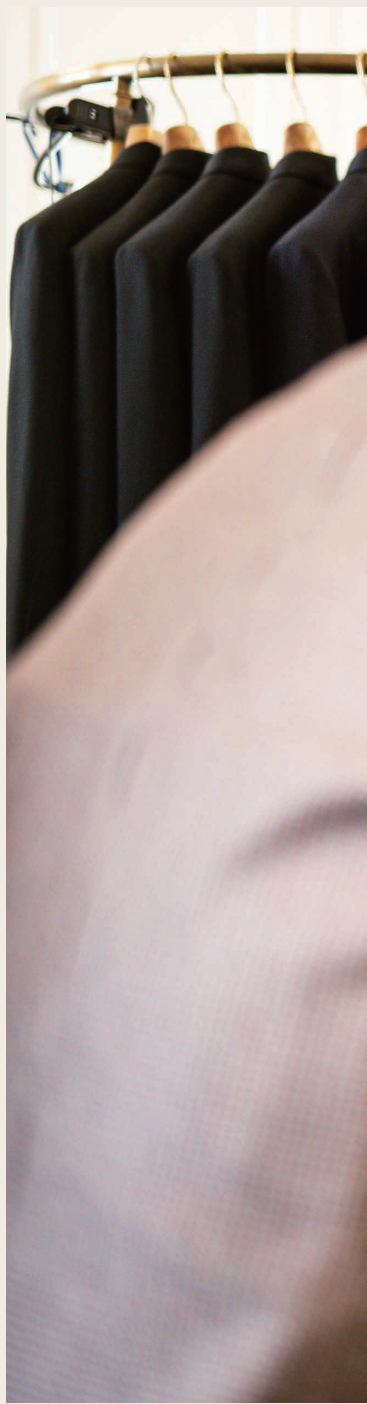


1.取材はイルサルト淀屋橋サロンにてあつという間に時間が過ぎていきました 2.小野さんの話が面白くて思わず前のめりに(笑) 3.スーツに合わせた白カットソー 清潔感があり素敵です 4.レディースラインILSARTO PERLADONNAのタグ 5.仕上がりも非常に気に入っていただきー安心!



県内有数の超強豪高校に進学しました。朝練・昼練・午後練とひたすら練習ばかり、必死にくらいついていったのですがあまりにも周りのメンバーが上手すぎて、レギュラーになることは叶いませんでした。それまではなんでも人並み以上にできるほうだったので、人生で初めて挫折を味わった期間でした。真剣に部活をするのはもういいやと思い、大学ではバスケットボールに入ってみたのですが今度は全然面白くないのです。飲み会メイン、バスケットはおまけが私には合わず、熱狂的に打ち込み成長を感じられる瞬間が好きなんだ!と気づき、関東1部リーグで常にベスト4入りしていた体育会ラグロス部に思い切つて入り直しました。入部するまでは想像もしていなかったのですが、やってみたらラグロスの動きはバスケットのそれによく似ていました。守り方の基本的な動きはほぼ一緒、攻め方も仲間で意思を合わせ・走り・繋いでいくという、それまでバスケットで鍛えた感覚をそのまま生かすことができ、早いうちからレギュラーになりました。ラグロス部引退時に仲間や後輩たち計45人がくれた寄せ書きを先日読み返したのですが「いつも気にかけて、声を掛けてくれてありがとう」「いつも見ていてくれて嬉しかった」というメッセージが多く、読み返してびつくりしました。そしてその寄せ書きの裏側に当時の自分の言葉が記されていました。「高校時



代のあの悔しい経験を無駄にしなかった。私の思いがちゃんと仲間の心に届いていた。こうやって自分のところに返ってくるんだなあ。これから社会に出ても、存在価値を認め合つて承認しあい、それによって得られる幸せを感じられる人で在りたい」なんだ、いまの私の原体験つてここにあつたのだと自分を振り返っていたところです。もし高校時代の、あの陽を浴びられないもどかしい経験をしていなかったら「上手なのだから試合に出て当たり前」と、サブメンバーたちがどんな想いで毎日練習しているかという視点を持ちあわせないと、自分よがりな傲慢なプレーヤーなっていたかもしれません、意味のないことは起きないと今になつて感じますね。

場をまとめる力を 金沢の地で 磨かせてもらった

就職活動はアナウンサー一本、アナウンサーになる!と小さいころから決めていたのではかは一切受けませんでした。そして金沢にある北陸放送さんにご縁をいただきアナウンサーとして入社しました。金沢はすごく素敵な街。どこを切り取っても絵になります。テレビもラジオもある局でしたので、テレビでニュースを読むこともあれば、ラジオパーソナリティをすることもあったのです

が、なかでも好きだったのがラジオカーで県内各地を「飛び込み」することでした。アポなしで伺つて交渉し生放送にご出演いただくのですが、地元のかたの「素の声」を聴いて私もJAZZの即興演奏のように掛け合いをしたものが、そのままオンエアで流れる。これが超楽しい!予定調和がないのでどう転ぶかわからないのですが、すごくアタマを使うし瞬間的に反応しないといけないので現場力がとにかく鍛えられます。これは今の仕事にそのまま役に立っていて、研修や対話型ワークのファシリテーターをする時、社長と話をする時も予定調和には行きません。瞬間に感じ取ったものを言葉にし、相手の言葉を聴き、最終的に場をまとめる力を金沢の地で磨かせてもらったと感じています。そんな金沢から東京に挑戦すべくホリプロに所属し、NHKやTBSの番組のレポーターなどを少しだけ経験したのち、ご縁があつてゴルフ場経営をしている人のもとへ嫁ぎました。そこから人生が大きく動きます。

数年を海外で過ごしたのちに、ゴルフ場運営会社の取締役に就任しました。わかりやすいえば旅館のおかみさんのような仕事。未来をイメージし、在りたい姿に向かうべく3つのゴルフ場のリブランディングを主導しました。そんな中で一番難しいのが人材教育。ハード部分はお金をかければ立派になりますが、